

町民の声

松前の水に百年の計を

ひよこたん池衆

60年前のことだが、石手川沿いにあった泉はつぎつぎと涸れ埋め立てられていった。それで泉を求めて、松前の徳丸、中川原、大間当たりまで、水遊びに来たものだ。重信川沿いには、松山にはなくなっていたこんこんと水の湧く泉が、まだ何十と大小さまざまに点在していた。その思い出が心の奥底に残っていて、松前に移り住むことになった。しかし、松山同様に思い出の泉は、涸れ埋め立てられていて、昔の面影はほとんど残っていない。つい20年前のことである。地区役員となり知ったのだが、ポンプアップする井戸の水位も年ごとに下がっている。地下水は松山ともつながっているでしょうし、ポンプアップする水の絶対量そのものが、半世紀前の十数倍というから

当然そうなる。

意識しない間に泉郷の根底から変化が起こっていたのだ。ふと義農作兵衛さんが現れて「地表ならまだしも地底の水まで使い果たそうとする愚か者よ 目を覚ませ、早く手を打て！」と。

慢性的な水不足に悩む西オーストラリアでは、東レの開発した技術で海水を真水にして生き延びているらしい。そんなことに成る前に、我々松前住民は田に水を張り畑に潤水し、野、山に水を養い、そうして地下水を常時備蓄すべきではないか。

自然を可能な限り元に戻すということだ。一方、地下取水ルールを近接市町村と検討しなくてはならぬ。行政は共に避けては通れない。計画を後回しせず、早急に、立案し実施に着手しなくてはならない。

さもなければ早晚、松前の地底がカラカラに乾くことも、杞憂ではないとこの半世紀を振り返り思う今日この頃だ。

傍聴席

町議会を傍聴して

K・I

2008年12月15日の、一般質問に傍聴に行きました所傍聴者の少ないのに寂しく思いました。私達、町民の最高機関である議会ですから、もっと町政に参加してもらいたいものです。

特に、議会では質疑応答中の休憩には驚きました。傍聴者を無視したものです。もっと進行をうまくやってほしいです。

又、文化財の保護、展示方法の質問がありました。これは、町民の宝物です是非、真剣に検討しなければならぬと思います。

新人議員も、町内のいろいろな問題点を質問され熱心に町政に参加しているのを、うれしく思いました。今後は益々松前町が明るく、住みよい活気のある町に発展するように町政に関わっていききたいと思えます。

町民の声の原稿をお寄せ下さい

町政や議会、本誌に対するご意見・ご要望などをどしどしお寄せ下さい。(500字程度)

宛先

松前町筒井 631
議会広報編集特別委員会
町民の声
FAX 985-4148
E-mail
500gikai@town.masaki.ehime.jp

おことわり

三好勝利議員の一般質問記事は掲載しておりません。ご了承ください。



本会議委員会 傍聴のご案内

住所・氏名・年齢を届けるだけで
どなたでも自由にできます。

松前町議会は、本会議と各常任委員会の傍聴席を設け一般公開しています。傍聴の手続きは、議会事務局(庁舎5階)で住所・氏名・年齢を書くだけの簡単なものです。多くのみなさんの傍聴をお待ちしています。

(今回は3月上旬中旬の予定です。)